

チーム一中



やまゆり

一宮町立一宮中学校
 生徒数 306人(1年95名・2年103名・3年108名)
 発行者 校長 竹之内 達生
 電話 0475-42-3079

【学校教育目標】

「輝く知性と豊かな心と健やかな体を育み、
 人間性あふれる生徒の育成」

めざす生徒像

い	命を大切にし、おもいやりのある生徒	【友情】
ち	力を合わせ、協力を重んずる生徒	【団結】
の	のびのびと、明るく健康で体力のある生徒	【頑強】
み	未来に夢を描き、意欲的に学ぶ生徒	【夢】
や	やる気とけじめをもち、礼儀正しい生徒	【礼節】

中国蘇州蘇州高新区実験初等中学校との交流 ～ グローバル・おもてなしプロジェクト ～

(1) はじめに：交流会の目的

7月3日(水)に、1年生が中国蘇州高新区実験初等中学校との交流を行いました。

本校は2020年 東京オリンピックが一宮町で開催されるのを受け、オリンピック・パラリンピック教育の指定を受けています。

オリンピック・パラリンピック教育では「児童生徒をはじめとした若者に対する、これからの社会に求められる資質・能力等の育成」の推進を目的としています。このプロジェクトは4つあり、1つに「グローバルプロジェクト」、2つめに「おもてなしプロジェクト」があります。

「グローバルプロジェクト」の目的は自国の歴史伝統文化について理解を深め、他国の歴史や文化、言語について学び、世界を舞台に活躍する児童生徒の育成です。

「おもてなしプロジェクト」の目的はボランティアに積極的に参加する意欲をもち、温かいおもてなしができる児童生徒の育成です。

そこで、今回、中国から同世代の中学1年生が長生村に修学旅行で来日するのを受け、交流の機会を設け、一宮町を紹介したり、本校の活動を紹介したりしました。さらに自国の伝統である武道の体験や共に活動し、初対面の相手でも交流し絆を深めたり、中国文化を知ったりすることで、オリンピック教育の意識を高めることをねらい活動の場を設定しました。

(2) 主な活動の流れ

第1部 セレモニー

- ① はじめの言葉
- ② 校長挨拶及び町長の紹介
- ③ 町長歓迎あいさつ
- ④ 生徒代表あいさつ
- ⑤ 中国側からのあいさつ
- ⑥ 日程説明
- ⑦ 終わりの言葉



7月1日の「町長と語る会」に引き続き、今回は**中国語の通訳として来校していただき、日中交流の橋渡しとして、馬淵町長に支援していただきました。**

第2部 交流会

- ① 一宮町・一宮中の紹介
- ② 剣道を通しての武道交流
- ③ 中国中学生からの紹介
- ④ 長縄交流
各クラス 男子・女子3グループずつのチーム
- ⑤ あいさつ



(3) 活動の実際

- ① 町、一宮中などの紹介をする1年生



- ② 剣道の形を見せる吉永先生・小関先生と体験する中国中学生



- ③ 漢詩を表現する中国中学生と交流の様子



(4) 交流を通しての感想

- 今日の国際交流を終えて、僕はとても楽しかったと思います。自分は役員で前の方からみんなをみていたところ、**みんなしっかりと話を聞いていました。**
これが交流会の成功の”カギ”だったと思います。これからの生活もメリハリを付けられると良いと思います。そして、協力してくださった先生方や剣道部の皆さんありがとうございました。
- 中国との交流会ではたくさんの方が中国の生徒たちと触れあい楽しい時間を過ごすことができました。特に、言葉が通じない中で、団結し絆を深めた大縄は中国の生徒達にとっても僕たちにとってもとても良い思い出になったと思います。
これからも**中国の人々に限らず、世界中の人々と仲良くできるとよいな**と思いました。
- 今回、中国のみなさんと国際交流をして、どれだけ遠くに住んでいても、公用語が違って、共に笑い合っ、協力して縄跳びをして、7回という初めて会ったとは思えないすばらしい結果を残せました。C組男子の9回というものすごい好結果を記録したことから、**ジョンレノンが「イマジン」を歌った『国境のない』世界は実在するんだ**と思いました。
来年の夏にオリンピックを控えた一宮町の中学生である僕らは外国の人との交流をする機会が増すと思います。
ですからとても有意義な時間となりました。
- 今日、初めて中国の人とふれあいました。みんなやさしくて、言葉が違うから大変だったけれど、中国の人たちが協力してくれたので楽しく終わることができました。
中国の人は英語も得意で会話もできました。大縄跳びなどでも英語やジェスチャーで伝えて2回とぶことができました。男子は7回も飛べていました。本当に楽しかったです。また、是非一宮中に来て欲しいです。そして、**もし機会があれば私たちも中国の中学校に行ってみたいです。**今日は良いことが学べたと思います。
2020年のオリンピックで生かしたいです。
- 中国国際交流を終えて、僕は**言葉が違っても表現やテンションなどだけで伝わったり、仲良くなれたりする**ことを学びました。そして、中国人としゃべれて嬉しかったです。大縄でやりかたをジェスチャーで説明したのが伝わって嬉しかったです。言葉でも説明できるようになりたいなあと思いました。海外にも興味を持てた良い交流でした。

- この交流会を通して中国の人々と言葉が通じない中でも共に協力したりすることで絆が生まれ、前は全く行きたくなかった中国に行ってみたいと思う中国に対しての前向きな気持ちも生まれました。

中国が嫌いだった私をこんな気持ちにさせた交流会はとてもよかったです。

- 中国の人たちと交流をしました。みんなで大縄飛びをしたり剣道を体験したりしました。中国の人たちも優しくてたのしんでくれたと思います。日本の文化や一宮中、一宮の歴史も知ってもらえてよかったです。
言葉が通じなくても理解してくれて良い経験になりました。**オリンピックもあるのでおもてなしの心を持って2020年を迎えたい**と思います。
- 中国の人たちと剣道や大縄で交流することは、なかなかない体験となりました。**剣道では、剣道部の練習などがとてもかっこよく、また中国の生徒も楽しそうにやっていたので**良かったと思いました。
大縄は即席のメンバーにもかかわらずたくさん団結して跳んでいて楽しかったです。
最後に中国にも行ってみたいと思いました。
- やっぱり何と言ってもあの**背の高さに驚**きました。「この子たち1年生なのかなー？」と友達と話したりしていました。そして、こちらが指示しているのに素直に聞いてくれてありがたく思いました。
2020年世界中からサーファーが集まりますが、**この国際交流で、世界に近づけた**のではないのでしょうか？
- 日本人の私たちが体育座りをしているのに対し、**中国人はあぐらをかいて座っていて、文化の違い**がわかった
また、中国人からの贈り物はほぼ全てが宗教関連のようなものであり、中国は仏教が民間に広まっているのがわかった。また、今度、もう1度交流したいと思った。

みんなでニッコリ！！またお会いしましょう！



(文責 校長 竹之内達生)